

●三田台公園

み た
三 田

Mita

三田は区内で最も古い地名の一つで、古くは、文献に「武蔵国荏原郡御田」とあります。『御田』というのは諸国に多い地名で、神領の呼び名であるとも伝えられています。後に『三田』の文字が使われるようになりました。

三田丘陵を縦断して古代の奥州路、中世には鎌倉街道と呼ばれる街道が南北にはしり、今の第一京浜国道の東側は海でした。

江戸時代、このあたりは月見の名所であったことから「月の岬」と呼ばれ、風光明媚な場所として知られていました。

Mita (三田) is one of the oldest place-names in Minato City. There were many places called Mita “御田” a long time ago in Japan. Later, a Chinese character “御” had been replaced with “三”. In the Edo period this area was known as a moon viewing spot, and called “Tsuki-no-misaki” meaning “cape of moon”.

「秋ならは月のみさきやいかならん
名は夏山のしげみのみして」と、歌にも詠まれています。

《江戸名所四季の詠 高輪月の景》
歌川広重(初代) 1847-1851年頃
港区立港郷土資料館所蔵



《The Sight of Edo in the Four Seasons: A Scene of Moon Viewing at Takanawa》

An Ukiyoe woodprint by Hiroshige Utagawa (the First), ca.1847-51.

The picture depicts visitors on a tea-house balcony who admire a moon rising above the sea.

しば み た こうらんちよう
回 芝三田功運町

寛永十七年(1640年)三田聖坂にそれまで江戸城近くの桜田にあった功運寺が移り(現三田中学校のあたり)、門前町となったことに由来しています。芝方面から三田台に続く細長い聖坂は、一説に高野聖が開いたといわれています。

明治二年、三田功運寺門前は三田功運町と改称されました。町名の由来となった功運寺は、大正十一年(1922年)に現在の中野区へ移転しましたが、町名はそのまま残りました。

回 Shiba-Mitakoun-cho

In 1640 Koun-ji Temple moved from Sakurada near the Castle of Edo to this place called Mita-hijirizaka. It became a temple town and both names, Mita and Koun, were combined.

しば み た だい まち 一丁目・二丁目・三丁目
回 芝三田台町 (昭和二十八年 芝三田台裏町が芝三田台町三丁目となりました)

三田丘陵の最も高い場所にあることから、その名のとおり三田台町となりました。江戸の初めにたくさんの寺がこの地に移り、それに伴い街道沿いに町がつくられました。今もこのあたりには、加賀千代女の句「朝顔に つるべとられて もらい水」で知られる薬王寺、フランス公使館が置かれた済海寺など、由緒ある寺社が数多くあります。

回 Shiba-Mitadai-machi 1-,2- and 3-chome (Shiba-Mitadai-Ura-cho changed its name to Shiba-Mitadai-machi 3-chome in 1953.)

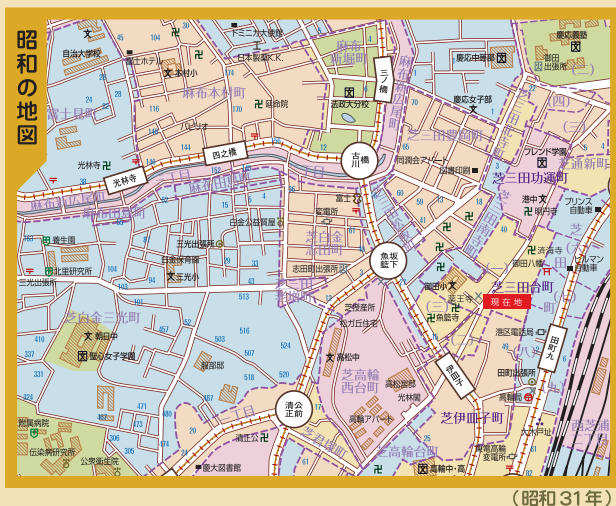
Located at the highest part of the Mita Hill, the town was called Mitadai-machi, meaning a town of Mita commanding a fine view.

しば い さらごまち
回 芝伊皿子町

変わった地名ですが、江戸時代にはすでに町名となっていました。由来は「更級日記」にあるいさらふが伊皿子になったという説や、伊皿子(インベイス)という名の明人が住んでいた、など諸説がありますが、定説はありません。町の中央には泉岳寺方面に下る伊皿子坂があります。

回 Shiba-isarago-machi

Some people say the name of the town originated from “iisarafu”, a word appeared in the classic literature Sarashina-nikki, and then, some people say the name of Chinese dweller “Imbeis” who came from Ming dynasty originated the town’s name. There is no generally accepted opinion.



(昭和31年)



(平成19年)